

令和2年度 第5回
上越市地域公共交通活性化協議会
次 第

日時 令和2年12月24日(木)午後2時30分から
会場 上越市春日謙信交流館 集会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議 事 項

議案第1号 令和3年4月に行うバス路線の再編について

議案第2号 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る事業評価について

議案第3号 公共交通総合時刻表の作成について

4 報 告 事 項

報告第1号 令和2年度(令和元年10月～令和2年9月)の路線バス等の利用状況について

報告第2号 路線バス(直江津・浦川原線)のダイヤ見直しについて

報告第3号 令和2年度公共交通利用促進事業の進捗について

5 そ の 他

6 閉 会

令和 2 年度

第 5 回

上越市地域公共交通活性化協議会
議案書

日 時	令和 2 年 12 月 24 日 (木) 午後 2 時 30 分から
会 場	上越市春日謙信交流館 集会室

令和3年4月に行うバス路線の再編について

1 要旨

令和3年4月1日に予定しているバス路線の再編等について審議するもの。

2 再編の内容

No.	路線名（経路）	再編の内容	資料
保倉地区			
1	<p>【路線バス】 直江津・浦川原線 (浦川原バスターミナル～マル ケーバスセンター)</p>	<p>(1) 日常的な通院や買物、通学に 使われる便において、上吉野・ 岡沢集落を通るよう経路の変更 を行う。</p> <p>※ 運賃の変更なし</p>	<p>資料 1-1 (資料 P 1) 資料 1-2 (資料 P 2) 資料 1-3 (資料 P 3)</p>
安塚区			
2	<p>【市営バス】 須川・伏野線 (伏野～須川～保健センター前)</p>	<p>(1) スクール混乗バスをスクール バスとデマンド交通に転換す る。</p>	<p>資料 2-1 (資料 P 4) 資料 2-2 (資料 P 5)</p>
3	<p>【市営バス】 船倉線 (上船～保健センター前)</p>	<p>(2) デマンド交通は、利用が少な い時間帯の便のダイヤ変更や減 便を行うとともに、曜日を限定 して運行する。</p>	
4	<p>【市営バス】 行野線 (行野公民館～保健センター前)</p>	<p>(3) デマンド交通をAコープ安塚 店の敷地内へ乗り入れる。</p> <p>※ 路線図（資料2-1）は、主な運 行経路図であり、予約状況に応 じて効率的な経路を運行する 「区域運行」を検討。</p>	
5	<p>【市営バス】 坊金線 (細野上～保健センター前)</p>	<p>※ 令和3年4月から9月までの 試験運行を経て、令和3年10月 から本運行を開始する予定。</p>	
6	<p>【市営バス】 袖山線 (安塚小学校南～袖山～安塚小 学校西)</p>	<p>※ 運行事業者の選定にプロポー ザル方式を導入し、選定を適正 に行うため、「運行事業者選定 委員会」を設置する。</p>	
7	<p>【市営バス】 朴の木線 (田舎屋前～保健センター前)</p>	<p>※ 運賃については、現状のス クール混乗バスの1乗車200円 を基本としつつ、運行事業者の 意見・提案等を踏まえて設定す る予定。</p>	

No.	路線名（経路）	再編の内容	資料
牧区			
8	【路線バス】 宮口線 (深山荘～高田駅前)	(1) 宮口線を幹線と支線に分け、幹線部分の牧小学校前・牧地区公民館前～高田駅前の間は宮口線で運行し、支線部分は市営バス（スクール混乗バス）で運行する。 (2) 宮口線は、利用の少ない時間帯の便のダイヤ変更や減便を行う。 (3) 市営バスの運行の効率化を図るため、高谷線の一部区間と平山線を統合して「高谷・平山線」を新設するほか、宮口線の支線部分と高谷線の一部区間、を統合して「宇津俣線」を新設する。 ※ 運賃の変更なし	資料 3-1 (資料 P 6) 資料 3-2 (資料 P 7) 資料 3-3 (資料 P 8) 資料 3-4 (資料 P 9) 資料 3-5 (資料 P10)
9	【市営バス】 高谷線 (農協前～高谷～農協前)		
10	【市営バス】 平山線 (牧中学校～平山～コミュニティプラザ)		
11	【市営バス】 坪山線 (牧中学校～南坪山～コミュニティプラザ)		
柿崎区、大潟区、頸城区			
12	【路線バス】 柿崎・森本線 (森本～柿崎バスターミナル)	(1) 路線を廃止する。	資料 4-1 (資料 P11)
頸城区			
13	【市営バス】 大池線 (海洋センター前～大池いこいの森駅～海洋センター前)	(1) 柿崎・森本線を利用して明治小学校へ通学している児童の通学に対応するため、ルートやダイヤを変更する。 ※ 運賃の変更なし	資料 4-2 (資料 P12) 資料 4-3 (資料 P13) 資料 4-4 (資料 P14)
14	【路線バス】 南川線 (海洋センター前～労災病院前)	(1) 平日朝の便について、島田経由と市村経由の2系統の重複を解消する。 (2) 運賃は、既存の系統を基準に設定する。	資料 4-5 (資料 P15) 資料 4-6 (資料 P16)
15	【路線バス】 黒井駅線 (海洋センター前～黒井駅南口)	(1) 利用が少ない時間帯の便の減便やデマンド化を行う。 ※ 運賃の変更なし	(資料 P16)

No.	路線名（経路）	再編の内容	資料
板倉区			
16	【路線バス】 島田線 (曾根田～高田駅前)	(1) 利用が少ない時間帯の便を減便する。 ※ 上越妙高駅乗り入れの実証実験は、新型コロナウイルスの影響により観光需要が見込めないため、次年度以降に実施を予定。 ※ 路線・運賃の変更なし	資料 5-1 (資料 P17)
17	【路線バス】 上関田線 (上関田～板倉中学校)	(1) 市営バス（スクール混乗バス）へ転換するとともに、運行の効率化を図るため、山寺薬師線と孤立線を統合して「山寺薬師・孤立線」を新設する。	資料 5-2 (資料 P18)
18	【路線バス】 山寺薬師線 (山寺薬師～板倉中学校)	(2) 板倉小学校への統合に合わせたダイヤに変更するとともに、利用が少ない土日祝日の便はデマンド運行とする。	資料 5-3 (資料 P19)
19	【路線バス】 孤立線 (孤立～板倉中学校)	(3) 自家用有償旅客運送の運賃は、他の自家用有償旅客運送の路線と同様に設定する。	資料 5-4 (資料 P20)
20	【路線バス】 新井・板倉線 (けいなん総合病院～板倉コミュニティプラザ前)	(1) 利用が少ない時間帯の便を減便するとともに、市営バスとの接続を考慮したダイヤに変更する。 ※ 路線・運賃の変更なし	資料 5-5 (資料 P21)
			資料 5-6 (資料 P22)

No.	路線名（経路）	再編の内容	資料
清里区			
21	【路線バス】 清里線 (赤池～高田駅前)	(1) 清里線を幹線と支線に分け、幹線部分の清里区総合事務所～高田駅前 の間は清里線を運行し、支線部分は 市営バスを運行する。 (2) 清里線は、利用の少ない時間帯の 便を減便するほか、市営バスとの接 続を考慮したダイヤに変更する。 (3) 市営バスは、清里診療所や交通空 白地である鶯澤や梨窪に乗り入れる ほか、冬期間も赤池まで運行する。 (4) 自家用有償旅客運送の運賃は、他 の自家用有償旅客運送の路線と同様 に設定する。	資料 6-1 (資料 P23) 資料 6-2 (資料 P24) 資料 6-3 (資料 P25) 資料 6-4 (資料 P26)
22	【路線バス】 三針線 (清里区総合事務所前～板 倉コミュニティプラザ前)	(1) 利用が少ない便の廃止及びバスの 折り返し時間確保に伴うダイヤ調整 を行う。 ※ 路線・運賃の変更なし	

3 実施予定日

令和3年4月1日（木）

4 その他

- ・ 路線、運賃の変更について、ご承認いただいた後、会則第11条第2項の規定に基づき、協議が調ったことの証明書を発行します。
- ・ 島田線は、「上越市地域内フィーダー系統確保維持計画」に位置付けていることから、当該計画の変更が生じる箇所についても、合わせて変更を行います。（計画の変更案は、資料P27資料7のとおり）

地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る事業評価について

1 要旨

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第 3 条第 5 項及び実施要領に基づき当協議会が実施する地域公共交通確保維持事業について、効果的かつ効率的に事業を推進するため、補助金交付要綱の規定に基づき、実施状況の確認及び目標達成状況等の評価を行うもの。

2 補助金名称

地域公共交通確保維持改善事業費補助金

※参考：補助金交付要綱第 1 条

「この補助金は、生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段が提供され、また、バリアフリー化やより制約の少ないシステムの導入等移動に当たっての様々な障害の解消等がされるよう、地域公共交通の確保・維持・改善を支援することを目的とする。」

3 評価対象事業

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（評価対象：R1. 10～R2. 9）

4 評価基準

(1) 事業実施の適切性

A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

(2) 目標・効果達成状況

A：事業が計画に位置付けられた目標を達成した（する見込み）

B：事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）

C：事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）

5 事業評価

次頁のとおり

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
9 頭北観光バス(株)	運行路線:黒岩線(2) 柿崎バスターミナル～下 灰庭・米山寺～黒岩	鉄道や他のバス路線への 接続に配慮したダイヤを 設定することで、高齢者を 中心に利用者の移動手段 を維持確保した。また、柿 崎区総合事務所と連携 し、お得な定期情報等を 事務所だよりやチラシによ り周知し利用促進を図つ た。	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	C 目標:年度上半期の収支率について、 前年度収支率より改善若しくは少なく とも維持する。前年度10.3%に対して 実績8.9%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線高齢 者等の日常生活に必要な移動手段を 確保(達成) 目標未達成の要因:高齢者を中心とし た利用者の減少により、現金収入が 減り収支率が悪化(運送収入前年度 比▲142千円(通年)・収支率前年度比 ▲1.4%)。	引き続き、鉄道や他のバス路線への 接続に配慮したダイヤを維持すること で、高齢者を中心に利用者の移動手 段の維持確保に努める。また、柿崎区 総合事務所と連携し、お得な定期情報 等を事務所だよりやチラシにより周知 し利用促進を図る。 なお、利用実績が改善されなければ、 令和4年4月に路線の廃止を予定して いるため、地域と連携し路線廃止後の 移動手段を検討する。
東頭バス(株)	運行路線:安塚線 うらがわら駅前～虫川大 杉駅前～保健センター前	鉄道への接続に配慮した ダイヤを設定し、学生を中 心に利用者の移動手段を 確保した。新高校1年生に 啓発資料を配布し利用促 進を図った。	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	C 目標:前年度収支率より改善もしくは 維持する。前年度47.0%に対して実績 35.4%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線住民 及び学生等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因:事業者の乗合事 業における費用は若干減少したもの の、他市における減便により費用単価 が上昇し、路線ごとの費用が増加し た。また、新型コロナウイルス感染拡 大の影響により利用者数が減少し、収 入全般(現金・回数券・定期券)が減 り、収支率が悪化した。(運送収入前 年度比▲696千円・収支率前年度比▲ 11.6%)	引き続き、鉄道や他のバス路線への 接続に配慮したダイヤを維持すること で、学生を中心に利用者の移動手 段の維持確保に努める。また、安塚区総 合事務所と連携し、お得な定期情報等 を事務所だよりやチラシにより周知し 利用促進を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
くびき野バス(株)	運行路線: 島田線 高田駅前～岡原～曾根田	鉄道(高田駅)や幹線系統への接続に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。市内の高校に通う学生を中心に、啓発資料等を配布して利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度19.0%に対して実績19.4%(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線住民の通勤・通学、通院などの移動手段を確保(達成) 目標達成の要因: 新型コロナウイルス感染拡大の影響により運送収入(現金・回数券)が減ったものの、雇用調整助成金等の収入があったため、収支率は改善した。(収支率前年度比0.4%)	引き続き、鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、板倉区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図るほか、令和3年4月に利用が少ない時間帯を減便し、効率化を図る。
頸城自動車(株)	運行路線: 佐内・直江津循環線 直江津駅前～労災病院前～佐内入口	鉄道(直江津駅)や幹線系統への接続に配慮したダイヤを設定し、高齢者を中心に利用者の移動手段を維持確保した。お得な定期情報等を掲載した高齢者向けの啓発資料を労災病院や直江津ショッピングセンター前案内所へ設置し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度13.2%に対して実績10.2%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線高齢者を中心に通院及び買い物等の移動手段を確保(達成) 目標達成の要因: 新型コロナウイルス感染拡大の影響により通院等による利用が減少し、運送収入が減ったため、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲268千円・収支率前年度比3.0%)	引き続き、鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。また、お得な定期情報等を掲載した高齢者向けの啓発資料を労災病院へ設置するとともに、直江津ショッピングセンターでの買い物目的の利用者獲得のため、頸城自動車と連携して利用促進を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
アイエムタクシー(株)	<p>運行路線:岡沢ルート 新井バスターミナル～中郷区総合事務所前～岡沢</p>	<p>鉄道や幹線系統への接続、通学に配慮したダイヤを設定し、沿線の中学生や高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努めた。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C 目標:前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度10.5%に対して実績8.6%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線の中学生の通学や高齢者の通院等の日常生活に必要な移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因:利用者の高齢化や新型コロナウイルス感染拡大の影響により現金利用を中心に運送収入が減り、収支率が悪化した。(利用者数R1:3,872人→R2:2,586人・運送収入前年度比▲215千円・収支率前年度比▲1.9%)</p>	<p>沿線の中学生や高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。中郷区総合事務所と連携し、乗合タクシーの利用方法を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。なお、令和2年10月に、高齢者の通院需要に対応するため、午前中心のダイヤ設定や医療機関付近に新たに停留所を設けルート変更を行ったほか、通院帰りの利用が多い、昼のデマンド便を定時便に変更した。</p>
東頸バス(株)	<p>運行路線:月影・下保倉・末広ルート(1)、月影・下保倉・末広ルート(2) うらがわら駅～浦川原区中心部～谷 運行路線:上柿野ルート うらがわら駅～上柿野～うらがわら駅 運行路線:小麦平ルート うらがわら駅～小麦平～うらがわら駅</p>	<p>小学校の登下校時間、鉄道(うらがわら駅)との接続に配慮したダイヤを設定し、小学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 目標:前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度17.7%に対して実績18.1%(達成) 事業効果:路線維持により、沿線の小学生や高齢者を中心に通学、通院及び買い物等の移動手段を確保(達成) 目標達成の要因:燃料費の単価が下がったことや、車両の入替がなく固定資産償却費等が減少したことにより、経常費用が減少し、収支率が改善した。(経常費用前年度比▲17千円・収支率前年度比0.4%)</p>	<p>引き続き、小学生の登下校時間、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、小学生を中心に沿線住民の移動手段の確保維持に努める。また、浦川原区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。なお、令和2年10月に、沿線のニーズを踏まえたダイヤの見直しを行った。また、上柿野ルート・小麦平ルートは利用実績が改善されなければ、令和3年10月に路線の廃止を予定しているため、地域と連携し路線廃止後の移動手段を検討する。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
6 くびき野バス(株)	運行路線:真砂・岡田線 高田駅前～真砂寺前～北坪山上	鉄道(高田駅)との接続に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。市内の高校に通う学生を中心に、啓発資料を配布して利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標:前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度19.1%に対して実績18.9%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 目標達成の要因:新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人件費が増加したことや運送収入全般(現金・回数券・定期券)が減少したことにより、収支率が悪化した。(経常費用前年度比482千円・運送収入前年度比▲77千円・収支率前年度比▲0.2%)	引き続き、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、三和区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。 なお、令和2年10月に、路線を三和体育館までとし、効率性を高めた。
頸城自動車(株)	運行路線:直江津・浦川原線(2) マルケーバスセンター～青野十文字～保倉川橋	鉄道(直江津駅及びうらがわら駅)との接続や小学生の通学に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標:年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度18.9%に対して実績17.7%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線住民の通学・通勤利用等の移動手段を確保(達成) 目標達成の要因:新型コロナウイルス感染拡大の影響により人件費が増加するなど、経常費用が増加し、収支率が悪化した。(経常費用前年度比374千円(通年)・収支率前年度比▲1.2%)	引き続き、鉄道、幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
10 東頸バス(株)	<p>運行路線:大平線(1) 浦川原小学校前～虫川大杉駅前～大島コミュニティプラザ前</p> <p>運行路線:大平線(2) 浦川原小学校前～虫川大杉駅前～小谷島</p>	小学生の登下校時間、幹線系統との接続に配慮したダイヤを設定し、小学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C <p>目標:年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度15.7%に対して実績14.5%(未達成)</p> <p>事業効果:路線維持により、沿線住民及び学生等の移動手段を確保(達成)</p> <p>目標未達成の要因:事業者の乗合事業における費用は若干減少したものの、他市における減便により費用単価が上昇し、路線ごとの費用が増加した。また、現金・回数券利用を中心に運送収入が減り、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲74千円(前期)・収支率前年度比▲1.2%)</p>	引き続き、幹線系統との接続に配慮したダイヤの維持や小学生の登下校の移動手段の維持確保に努めるとともに、浦川原・大島区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。また、令和4年4月の再編に向け、路線の統合等を検討し効率化を図る。
上越市	<p>運行路線:名立区自家用有償運送(系統4) うみてらす名立前～ろばた館前～東飛山</p> <p>運行路線:名立区自家用有償運送(系統5) コミュニティプラザ前～ろばた館前～東飛山</p> <p>運行経路:名立区自家用有償運送(系統6) コミュニティプラザ前～名立駅前～宝田小学校前</p>	小中学生の登下校時間、幹線系統との接続に配慮したダイヤを設定し、小中学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。また、公共施設(ろばた館)との提携やチラシを配布し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C <p>目標:年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度8.3%に対して実績7.4%(未達成)</p> <p>事業効果:路線維持により、沿線住民及び学生等の通学や通院などの移動手段を確保(達成)</p> <p>目標未達成の要因:当市が実施する自家用有償旅客運送全体の経常費用が人件費を中心に増加したほか、一般利用の減少により、経常費用に対する運送収入が減少し(運送収入前年度(通年)1,018千円に対して当年度前期444千円)、収支率が悪化した。(収支率前年度比▲0.9%)</p>	引き続き、小中学生の登下校時間に配慮したダイヤを維持することで、小中学生を中心に沿線住民の移動手段の維持確保に努めるとともに、名立区総合事務所と連携し、お得な乗車券を設定し利用促進を図る。(高校生向け定期券・土休日乗り放題乗車券)

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
頸北観光バス(株)	<p>運行路線: 吉川西部循環線(系統1: 吉川くびき駅線) 吉川中学校・吉川区総合事務所前～くびき駅前～吉川区総合事務所前・吉川中学校</p> <p>運行路線: 吉川西部循環線(系統2: 上下浜駅線) 吉川区総合事務所前～上下浜駅前～吉川区総合事務所前・吉川中学校</p>	<p>学生の登下校時間、鉄道(上下浜駅、くびき駅)との接続に配慮したダイヤを設定し、学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C 目標: 年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。年度40.9%に対して実績40.7%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線住民及び学生等の通学や通院などの移動手段を確保(達成) 目標達成の要因: 現金利用による運送収入は増加した(前年度比43千円(前期))ものの、中学生・高校生の利用が中心である定期券収入が減少し、運送収入全体で前年度比▲11千円(前期)となり、収支率が悪化した(収支率前年度比▲0.2%)。</p>	<p>引き続き、学生の登下校時間、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、学生や沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、吉川区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。</p>
くびき野バス(株)	<p>運行路線: 青柳線(下稲塚経由) 高田駅前～中央病院・下稲塚～青柳</p> <p>運行路線: 青柳線(松野木経由) 高田駅前～中央病院・松野木～青柳</p>	<p>鉄道(高田駅)や幹線系統との接続に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。また、中央病院に高齢者を対象とした啓発資料を設置し利用促進を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 目標: 年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。年度15.8%に対して実績17.8%(達成) 事業効果: 沿線住民及び高齢者の通院などの移動手段を確保(達成) 目標達成の要因: 新型コロナウイルス感染拡大の影響により人件費等の経常費用が増加したものの、定期券利用を中心に運送収入が増えたほか、雇用調整助成金等の収入があったため、収支率は改善した。(運送収入前年度比37千円(前期)・収支率前年度比2.0%)</p>	<p>引き続き、鉄道・幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、中央病院に高齢者向け啓発資料を設置することや清里区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。 なお、令和3年4月に、路線を地域の生活拠点である清里区総合事務所までとし、効率性を高める。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	上越市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	上越市では、鉄道(えちごトキめき鉄道妙高はねうまライン及び日本海ひすいライン、JR東日本信越本線、北越急行ほくほく線)のほか、当市と周辺自治体を、また、鉄道のない郊外エリアと市街地を結ぶ一部の幹線的バス系統(6系統)を、公共交通ネットワークの骨格に位置付け、その他の路線バス系統やコミュニティバス(市町村運営有償旅客運送)と接続させることで、効率性を考慮しながらも、使い勝手のよい階層的な公共交通ネットワークの構築を進めるとともに、生活交通の維持・確保がなされるよう、既存の路線バス等について、地域の実情を踏まえた運行形態へと見直しを進めた。

公共交通総合時刻表の作成について

1 要旨

令和3年3月の鉄道のダイヤ改正及び令和3年4月の路線バス等のダイヤ改正に合わせて、市内の列車時刻や路線バスの運行時刻及び路線図をまとめた冊子を作成する。

2 主な仕様（案）

冊子名称	上越市内公共交通総合時刻表
規 格	A4判冊子 4色フルカラー
ページ数	48ページ(構成：路線図10ページ、鉄道・バス時刻表等38ページ)
印刷部数	10,000部
配布時期	令和3年3月中旬

3 配布先（案）

配布先	部 数
市窓口	
各総合事務所（13か所×20部） 南・北出張所（2か所×30部） 総合案内（100部） 市民課（転入世帯分3,500部）	3,920
市施設	
高田図書館（50部） 直江津学びの交流館（20部） 市民プラザ（10部） リージョンプラザ（10部） 地区公民館（15か所×10部） 高齢者交流施設（8か所×供覧用1部）	248
観光案内所	
高田駅前・上越妙高駅観光案内所（各100部）	200
交通事業者	
鉄道事業者 （JR東日本7駅・北越急行5駅・えちごトキめき鉄道10駅×供覧用2部） バス案内所（4か所×1,000部） 頸北観光バス・頸南バス・東頸バス営業所（各500部）	5,544
病院・診療所	
中央病院・労災病院・上越病院（供覧用各5部）	15
その他	
交通政策課（73部）	73
合 計	10,000

※各施設で希望者に配布

4 経費

- ・ 予算額
1,087,900 円（税込）
- ・ 財源内訳
市負担金＋事業者負担金
- ・ 事業者負担金の考え方
作成費を各事業者の時刻表の掲載割合により算出した額(各事業者負担金)の合計額

＜算出方法＞

① (1 ページ)4 コマ×(1 冊)48 ページ=192 コマ

② 作成費÷192 コマ=1 コマ当たりの金額(円)

③ 1 コマ当たりの金額(円)×各事業者時刻表掲載コマ数
=各事業者負担金(円)

1 コマ	2 コマ
3 コマ	4 コマ

(1 ページを 4 分割)

(参考：令和 3 年 3 月発行「上越市内公共交通総合時刻表」財源内訳見込)

作成費	市	事業者負担金
1,087,900 円	363,700 円	724,200 円

5 作成スケジュール（案）

時期	内容
令和 3 年 1 月中旬	作成業務受託事業者の決定
1 月下旬～3 月上旬	初校の作成 ～ 校正 (3 回) ～ 校了
3 月中旬	総合時刻表の納品・配布

6 その他

総合時刻表の配布に加え、一人一人のニーズに応じた「マイ時刻表」の作成・配布を引き続き行う。

(主な仕様)

冊子名称	上越市内公共交通「マイ時刻表」
規格	A4 三つ折り
掲載内容	自宅から目的地までの公共交通の時刻表、バス停の位置図
作成実績	31 件 (令和 2 年 4 月 1 日～令和 2 年 12 月 15 日現在)
デザイン	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【外面】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【中面】</p> </div> </div>

令和2年度（令和元年10月～令和2年9月）の 路線バス等の利用状況について

1 要旨

令和2年度（令和元年10月～令和2年9月）の利用者数等の実績の集計結果について、報告を行うもの。

2 対象路線及び集計期間

- (1) バス運行対策費補助金の補助対象路線（70系統）
……令和2補助年度（令和元年10月～令和2年9月）
- (2) 上越市が実施する自家用有償旅客運送（市町村運営有償運送）（13系統）
……令和元会計年度（令和元年4月～令和2年3月）

3 集計結果（概要）

- ・前年度と比較し、増加した系統：25系統
- ・前年度と比較し、減少した系統：58系統

【資料】

- ・路線バス等の利用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・資料8(資料 P43)

路線バス（直江津・浦川原線）のダイヤ見直しについて

1 要旨

中央二丁目から三ツ屋までの停留所間において、道路の混雑に伴い路線バスの直江津・浦川原線に遅延が生じていたため、運行ダイヤを一部変更したものの。

2 見直し前の現状

マルケーバスセンター7:03 発の便に5~10分程度の遅延が発生。

3 見直しの概要

(1) 対象路線

- ・路線の名称 直江津・浦川原線
- ・運行系統 マルケーバスセンター～青野十文字～浦川原バスターミナル
- ・運行回数 平日9往復、土日祝7往復

(2) 内容

道路の混雑を考慮し、マルケーバスセンター7:03 発を6:57 発に6分早め、三ツ屋までの区間で運行時間を調整。

※平日に運行する便のみ

※運賃や本数に変更なし

4 実施日

令和2年10月1日（木）

5 実施結果

運行時間の調整により、概ね時刻どおり運行されている。

6 その他

バス案内所、車内掲示及びバス停の時刻表の差替えのほか、頸城自動車㈱及び市ホームページで周知を行っている。

【資料】

- ・路線バス（直江津・浦川原線）路線図・・・・・・・・・・資料9-1(資料P45)
- ・路線バス（直江津・浦川原線）変更後の時刻表・・・・・・・・・・資料9-2(資料P46)

令和2年度公共交通利用促進事業の進捗について

1 要 旨

令和2年度事業計画に基づく利用促進事業の実施状況について報告するもの。

2 進捗状況

No	実施時期	事業名	進捗状況	備考
①	4月1日～	上越市内公共交通「マイ時刻表」の配布	実施中	
②	7月6日～	高齢者を対象とした公共交通啓発資料の配布	一部実施	
③	8月1日～ 8月23日	夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーン	実施	市共催
④	9月	バスの日フェスタ2020	中止	
⑤	9月/3月	再編周知チラシの配布	一部実施	
⑥	12月	公共交通総合ホームページの開設	実施	
⑦	12月	ホームページ案内ポスターの掲示	実施	
⑧	3月	上越市内公共交通総合時刻表の配布		
⑨	随時	各区で取り組む利用促進事業	実施中	


※太枠内の事業は、今回の協議会での報告内容

3 実施結果

⑤ 再編周知チラシの配布

事業概要	第2次上越市公共交通総合計画に基づくバス路線の再編について、バス路線の沿線町内会に再編後の経路や時刻、お得な情報等を記載したチラシを作成・配布し、公共交通の利用促進を図る。
配布日	広報上越10月1日号と併せて全戸配布
配布先	中郷区(1,500部)
作成費	紙代:19,140円
備考	浦川原区及び三和区に係る再編については、広報上越9月1日号に併せて全戸配布済み(第4回活性化協議会において報告)

⑥ 公共交通総合ホームページの開設

事業概要	バスの遅延などのバス利用における不安を軽減するため、スマートフォンやパソコンでバスの位置情報を確認できるバスロケーションシステムのほか、経路検索や公共交通の運行情報、お得な割引・切符情報のリンクを掲載したホームページを開設する。
開設日	11月1日（日）
デザイン	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【トップ画面】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【バスロケ画面】</p>  </div> </div>
バスロケ対象路線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上越大通り線（鶉の浜～本町・西城町～中央病院・上越妙高駅前） （上越モール前・中央病院～新井バスターミナル） ・ 教育大学線（上越モール前・中央病院～直江津駅前） ・ 富岡線（高田駅前～マルケーバスセンター）
利用状況	<p>期 間：令和2年11月1日～令和2年11月30日</p> <p>ユーザー数：2,084人</p> <p>アクセス数：3,990回</p>

⑦ ホームページ案内ポスターの掲示

事業概要	公共交通総合ホームページの概要や直接アクセスできる2次元コードを掲載したポスターを作成・掲示し、周知を図る。
作成部数	A2サイズ60部、A3サイズ180部
作成費	49,500円
掲示日	11月6日（金）
掲示先	市内のバス案内所や大学、専門学校、高校、公共施設等

【資料】

- ・ 上越バスロケーションシステムを活用ください！・・・・・・ 資料10 (資料 P47)